

# 陽気だより

養徳社 検索

No.11 2008.2.15

## 第二号から

「陽気」は、昭和24年5月の創刊、平成21年に60年を迎えます。その足跡の一端を、昔の記事から振り返っていきます。

## 陽気な街

### 百年後のお地場風景

秋田 実

エンタツ いいや、僕はせめて百年長生きして、その時の御地場の有様を自分の眼でとつくりと見たいもんや。

アチャコ 成程。今から百年経ったら、そら、御地場は正にこの世の極楽になつてる。エンタツ さあ、知りたいの



はその立派さや。

アチャコ 聞いて、その結構さに吃驚するな。エンタツ 一体、どんな風になつてるやろ？

アチャコ 先ず、第一が神殿や。―甘露台を中心に神殿は八町四方の壮麗さ。そして、見渡すかぎりの七里四方が神の屋形と言う壮大さ。どうや、君？

エンタツ ほう！ 眼の前に、その壮大壮麗な有難さが自然と浮んで来るな。

アチャコ だが、話は愈々これからで、ゆつくりと落着いて吃驚せい！

エンタツ そんな、妙な言い方をするな。

アチャコ 百年後には、御地場はもう日本の丹波市ではなく世界的な聖地になつている。エンタツ 成程、御地場の名前は地球上に知れ渡つている。……

アチャコ その通り！ そして、御地場の入口には教祖さまの大きな優しい像が聳えるように建てられてあつて、遙か遠くから見ることが出来る。エンタツ 遙か遠く？ と言うと、十里ぐらい先から……？

アチャコ まだまだ！ エンタツ じゃ、百里ぐらい先か？

アチャコ 中々！ エンタツ では、千里ぐらい？

アチャコ どうして！ エンタツ へえ、そんなら―アチャコ いやいや！ エンタツ まだ何もきいてへんがな。アチャコ 見える先は、千里

や万里ではとてもきかん。エンタツ 本当かいな？

アチャコ だって、考えてみい、教祖さまの教えは何や？

天理の教えやないか。

エンタツ あっ、成程、天理か。……

アチャコ 分かつたか。千里万里のまだ先の天理やから、教祖さまの像は世界中どこからでも見える訳やし、一列兄弟の陽気ぐらしの声は地球上の隅々にまで聞こえる道理や。エンタツ つまり教徒の法被姿は全世界の至る処で見られると言う訳か？

アチャコ 見られるどころか、百年後には制服の法被姿は最モダン・スタイルとして、ハッピー・コートの名前で皆に親しまれている。エンタツ ほんに、ハッピーコートと言えは、つまり幸福の上着と言う意味や。

アチャコ 左様。百年後にはハッピー・コート一名、仕合せ着は全世界の流行ファッション界を風靡している。(後略)

秋田實 (あきたみのる) (一九〇五―一九七七) 現在の漫才の原型をつくった、上方を代表する漫才作家。二代真柱と旧制大阪高校同期生。

## ありわのなりひら 在原業平と井筒

平安朝のころ、歌人であり美男子としても知られた在原業平は、今の櫛本町の在原神社（在原寺）のあたりに住んでいた。幼いころ、仲よしの女の子とそばの井戸に姿を映したり、井戸のへりに小袖を掛けたりして遊んでいた。女の子は業平に思いを寄せていたのである。

ところが、大人になった業平は河内の姫に恋をして、足しげく通い、恋心を燃やした。しかし、百年の恋も……ふとした姫の上品な態度に嫌気がさし、一気に冷めてしまった。



天理市にある在原神社（寺）の境内。左手に見える井戸が、世阿弥の能にある「井筒」とされる。西名阪天理インターの南側、空港バス停から西へ50m。



移り気な男心に翻弄された河内の姫は、在原にもどって河内に向かなくなつた業平を追いかけた。一本の柿の木の下の方の井戸のところまでやってくる。井戸に映つた業平の姿に「この中に業平さまが」と、あわれ井戸に飛び込んでしまった。業平は柿の木に登って隠れていたのである。

この井戸は「業平姿見の井戸」として伝えられた。

さて、幼いころに遊んだ女の子も大人になり、いまだ業平に思いを寄せていたが、河内の姫のもとへと通いつめる男の心変わりが恨めしくてならなかった。

業平の冠をかぶつた我が姿を井戸（上の写真）の水に映しては業平をしのび、幼いころの楽しい思い出を思い出しては切ない片思いの寂しさをまぎらわしていた。年ごとに老いてゆく我が姿に、積年の恋を取り戻すこともできぬまま、一人寂しく、思い出に生きる老婆となつて井筒に果てるのであった。

この寂しい老婆の亡霊の物語は、世阿弥の能「井筒」として、今も上演されている。また、業平が河内の高安へ通つたとされる業平道には、今も「業平姿見の井戸」が残るかたわらには蕪村の「虫鳴くや河内通いの小提灯」の句碑が建っている。

（「てんりの昔話」を要約加筆）

在原業平は平安初期の歌人。「伊勢物語」の主人公と混同され、伝説化して、容姿端麗：色好みみの典型的な美男とされた。（『広辞苑』第八版より）因みに、一月下旬、『広辞苑』で「芦屋」の項での間違いが報道されたが、それは兄・行平（ゆきひら）に関わる記述。

## 第10回「陽気」読者講演会

# 頭の痛い話

ながせき頭痛クリニック院長  
永関慶重

平成20年2月25日（月）午後2時～3時  
天理大学ふるさと会館大ホール  
（天理図書館西側）開場は30分前です

TEL 0743-62-4503 FAX 0743-63-8077 養徳社「講演会」係



好評発売中!!  
植田與志夫氏 待望の著書



昨年11月26日の発刊以来、『さあ、これからやー信心は意気と熱』が、好評をいただいています。

何度読んでも胸打ち、血が湧く話。弊社として、PRにも工夫をこらしています。最近、おちばの道友社書店に、本のそばに手作りの朱色の幟を立ててもらいました。

奇しくも養徳社発行千冊目の本。自信を持ってお薦めする、一人でも多くの人に読んでいただきたい本です。植田先生は今、中国大陸布教に向けて「さあ、これからや」です。四六判上製・二七二頁

定価 一、三六五円（税込）

講演会CDも好評発売中!

※ご購入は、おちばの各書店でお求めくださるか、直接当社へご注文ください。

☎0743・62・4503

養徳社 よもやま話

★春季大祭後、お腹をこわし酷い胸やけに苦しんだ。まさか今巷で報道されている農薬中毒!? と焦ったが、同じ物を食べていた妻はいたって元気。七日後、症状が治まり、さぞ体重も減っただろうと期待しつつ体重計にのる。しかし以前と変わらない数値に愕然!

★朝、小学一年生の三男が、なぜかきびきびと準備をする。『?』と思つた妻が探ると、分に学校の授業で、心の鬼を追い出そうと、目標を立てたことが判明。はてさて、心を数々の鬼に占領された私は、どの鬼から追い出せばいいのやら……。

### 広告を載せませんか

ようぼくの企業や会社の広告を『陽気』誌へ載せてみませんか? 掲載料金は、広告の大きさによって異なります。料金は、記事中で一回二万円から。

詳しくは養徳社広告係まで  
☎0743・62・4503

この「陽気だより」を各支部例会などの折、広く養徳社からのお知らせとしてご利用いただけますよう、お願い申し上げます。

養徳社